

令和6年度 NPO 法人新治里山「わ」を広げる会 事業報告(総括)

■令和6年度の事業(1～4)・組織編制(5～8)方針は、下記のとおり。

- (1)にいはる未来宣言 for 2030 の4つの取り組みおよびアクションプランについて、優先順位を決め、できるところから着手する。
- (2)公園の管理運営方法の再点検を随時行い、事業展開を見据えつつ改善を図る。
- (3)新治および周辺地区の施設や団体との連携をよりすすめるため広報力を強化する
- (4)事業推進の助成を得るため横浜市市民活動推進基金(よこはま夢ファンド)の登録団体を目指す。
- (5)4～6月はR5年度の体制を継続、7月以降に新体制とする。センター長1名、サブセンター長2名を配置、スタッフは事業を円滑に継続できるよう、協力し合いながら事業をすすめる。
- (6)新たな5年をすすめるため新規スタッフを募集する。
- (7)ボランティア活動(公園PJ、谷戸田)の拡充と支援を行う。
- (8)理事会の構成について(3人以上8人以内)正会員による推薦を受け協議して決める。

.....

■上記方針の総括

新たな5年を始めるにあたり、「にいはる未来宣言 for2030」の策定とともに資金繰り等も踏まえて組織編制の見直しを行った。編制変更に伴い永年勤務者の退職があり(3名+2名)、4名(+2名)の新スタッフを迎えることとなった。理事会も長年勤めた原氏の勇退により宮本氏が選出され、メンバーが刷新された。

組織だけではなく、会計の仕組みの変更、事務所レイアウト変更、機材を刷新(コピー機、PC、刈払い機等の電動化など)し、多様な業務の分担、ワーキングシェアに対応できるよう整えた。

しかし、様々な仕組みがまだ整備途中、未熟なこともあり課題が散見されるため、できるところから改善できるようにすすめていきたい。

未来宣言への取り組みは、これまでの活動を徐々に深める、広げている状況で、見える成果には至っていない。共感・賛同してくれる仲間づくりも必要となるので、今後の工程について整理する。

事業内容	
1. 新治里山公園 指定管理業務	※「資料-1」を参照
わつなぎパーク(新治外の施設や団体との連携)として初めての事業「夏至トワイライトガーデン」を夜間開催し大変好評だった。企業や大学の学習会やボランティア活動の受入れなども行った。小学生のボール遊びが本格的なサッカーとなり草地在劣化、ベンチの破損等につながりやむなく禁止せざるを得なかった。小さな子供や高齢者も安心して利用できるよう注力していきたい。建具や雨どいなど経年劣化による小さな修繕については、ボランティアとスタッフでできるだけ対応した。夏の酷暑についてはスタッフの安全を考慮し、屋外の作業、植物管理の方法を変更するなど検討する。	
2. 新治里山公園運営プロジェクト	※「資料-2」を参照
・プロジェクト登録メンバー数は74人(11人増)。 ・偶数月及び9月の第一日曜日に運営プロジェクト企画会議を行い、6回実施(9月は台風で中止)。 ・6月のプロジェクト会議の後、部会担当でPJ報告会をおこなった。 ・秋まつりは11/10に実施、終了間近で小雨となり、早めに切り上げたが来訪者・参加ボランティア含め1,100人を超えた。 ・主催イベントや活動は年間130回、参加者数は2742人。 ・新治里山ごよみはデザイン一新、カラー化した。4回、各5,000部発行。	

3. ウェルカムセンター運営業務 ※「資料-3」を参照

- ・「森に親しむ・学ぶ行事の開催」については、市民参加型生きもの調査、学校連携行事、寺家ふるさと村四季の家との連携行事、「にいはる自然じかん」の4カテゴリーとして実施した。
 - ・谷戸田および新治小ビオトープ、園内遊水地へのツチガエル放流への協力(繁殖センター)。
 - ・新治での生物相モニタリングを定着していく一環として里地里山モニタリング 1000、植物調査を実施。
 - ・新治市民の森保全管理計画定例会(月1回)の事務局を担い、関連団体間調整なども対応した。
累計150回を迎えた。
 - ・緑区内小学校の園内受入れ対応(見学・解説)は20回、企業や大学の学習会対応も行うことができた。
 - ・横浜市長が来訪、TVK「ハマナビ」の撮影が行われ、企画づくりから協力した。
- ※「森を楽しむ事業」の一環で、緑区から「みどり親子の森あそびナビ」制作の業務を受託し、一般社団法人遊心との協働で原稿作成を行った。冊子になり、緑区内の保育園や幼稚園に配布された。

4. 谷戸田の保全活動(谷戸田を守る会) ※「資料-4」を参照

- ・田んぼ 11 枚で、黒米、もち米、うるち米を作付。 冬季湛水、不耕起など取り入れ、農薬・化学肥料不使用で栽培。酷暑のため収量は 547kg。前年比 87%となった。
- ・田んぼ体験のイベントを実施。田植えと稲刈りを行った。 25 名。
- ・シュタイナー学園 7 年生の里山活動体験(くろつけ、草取り、稲刈り)を受け入れ。 各 10 名。
- ・ツチガエルの保全活動に協力、繁殖センターより放野された後、確認できたら報告をした。
- ・運営の仕組みを変更、3グループで活動計画・当日運営の輪番制とした。
- ・事務局では横浜市森づくりボランティア団体登録更新および報告業務、新人研修などの支援を行った。

5. 新治恵みの里発展会 朝市運営補助業務

春・夏の端境期を除き 42 回 開催され、販売補助を行った。

6. 梅田川 水辺の楽校協議会への参加、運営協力

- ・10/19 梅田川遊水池のかいぼりと生きもの調査への協力。
- ・新治小、三保小の生きもの観察会への協力。
- ・ホテルうちわの配布を実施、運営委員会は交流センターで 3 回開催した。

7. 地域連携

◆地域交流事業

- ・十日市場中学校吹奏楽部スプリングコンサート、新治里山秋まつり、どんど焼きも例年通り実施、近隣住民等、多くの人が訪れた。
- ・新治市民の森愛護会、一本橋メダカ広場水辺愛護会、恵みの里発展会は、日常的な連携関係にあり、引き続き協働していきたい。

◆学校連携

- ・新治小学校 5 年生 学校田んぼの支援を 5 月～11 月にかけて実施(ウェルカムセンター関連業務)。
- ・「むかしの暮らし」学習として 6 校 703 名の受け入れ(ウェルカムセンター関連業務)。
- ・シュタイナー学園には縄ない等のプログラム提供、里山保全活動ボランティア受入れ。
- ・そのほか、まちたんけんや森・川歩きに関することなど情報提供、施設利用等を実施。
- ・大学のゼミ等での学習会、ヒアリングに対応。

(東洋英和、創英、明治大、横浜市大、神奈川大、帝京科学大、鶴見短期大)

◆近隣農地での撮影支援

「NHK 趣味の園芸～里山菜園・有機のチカラ」が、近隣農地で1年を通して行われることとなり、撮影のバックアップについて協力。休憩・更衣等での施設利用や撮影時のフォローなど対応した。

◆わつなぎパーク事業

- ・6/21の夜に関係者(みどりアートパーク、十日市場ケアプラザ、フラットガーデン、シュタイナー学園、ねんじゅ坂プレイパーク、TDM、珈琲淹れ方研究会)で「夏至の日実行委員会」として「夏至トワイライトガーデン」を開催できた。
- ・青少年みどり遊楽舎(森のクラフト4回)や里山会(元気づくりステーション月2回、夏冬休み)、恵みの里発展会(栽培収穫体験)が園内でイベント実施。